

記入日	2015/12/21
所属学部・学科 ／研究科・専攻	理工学部 建築 学科 国際プロフェSSIONALコース 理工学研究科 専攻
留学先国	シンガポール
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立シンガポール大学 現地言語: 英語
留学期間	2015 年 8 月～ 2015 年 11 月
留学した時の学年	修士 1 年生(渡航した時の本学での学年)
留学先での学年	学部 4 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	school of environment and design
出発年月日	2015 年 7 月 30 日
帰国年月日	2015 年 11 月 24 日
明治大学卒業予定年	2017 年 3 月
留学先大学について	
形態	国立
学年暦	1 学期: 2 学期: 3 学期: (記入例/1 学期:4 月上旬～7 月下旬, 2 学期:9 月中旬～2 月上旬)
学生数	約 3 万人
創立年	1 9 0 5 年

留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨( )	円	備考
授業料		0 円	
宿舍費		250000 円/M	
食費		1500 円/D	
図書費		0 円	
学用品費		5000 円	
教養娯楽費		円	
被服費		20000 円	
医療費		0 円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		0 円	マイル使用
雑費		50000 円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

--

留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:	申請先:
ビザ取得所要日数: 1日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

--

具体的な申し込み手順を教えてください。

--

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？
ビザ取得に関して困った点・注意点
入国時にもらう書類をなくさないこと
留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)
その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

<b>現地到着後のながれ</b>				
1.到着時の様子				
利用航空会社	JAL			
渡航経路				
渡航費用	チケットの種類: 航空券代: 0円(往復, 往路のみ, 復路のみ)			
航空券手配方法	JALのネット予約			
大学最寄空港名	羽田	現地到着時刻		
キャンパスへの移動手段		公共交通機関 (バス電車)	タクシー	
移動の所要時間	1時間			
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等				
荷物が大きい場合マナーとしてタクシーを利用、尚タクシー料金は4000円程度				
大学到着日	8月3日 時頃			
2.住居について				
到着後すぐに住居 入居できましたか？	いいえ	いいえを選んだ方: 8月10日から入居可能だった。		
住居のタイプ	コンドミニアム			
部屋の種類	一人部屋			
ルームメイト				
住居を探した方法	専用のアプリ			

住居の申込み手順	1 内覧 2 契約
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？滞在先の感想も書いてください。	
日本人運営の不動産サイトで探すと仲介料が高いです	
3.留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	あった
日程	
参加必須ですか？	任意参加
参加費用は？	無料
内容と様子は？	
留学生用特別ガイダンス	あった
授業開始日	月 日から
その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
なし	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
なし	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
空港でプリペイドSIMカードを購入	
5. 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
なし	
6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
明治の教授や NUS の OG	
7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
なし	

8. パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので,寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なし

9. 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

コンセント変換プラグ

### 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に( 月 日頃)

オンラインで登録

登録時に留学生として優先されることは

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

登録できる教科が決まっているので、それを必ずとる

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

日本の大学と同じように追加、登録期間があります。

### 卒業後の進路について

1. 進路

未定

2. 進路決定の際に参考にした資料, 図書, 機関など

なし

3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。  
(例:留学中の就職活動へ向けた準備,帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。							
	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	スタジオ		授業	スタジオ			
15:00	スタジオ			スタジオ			
16:00	スタジオ			スタジオ			
17:00	スタジオ			スタジオ			
18:00	スタジオ			スタジオ			
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
1 2	8 単位
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
英語	デザイン7
科目設置学部・研究科	school of environment and design
履修期間	1 セメスター
単位数	8
本学での単位認定状況	6
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1週間に 250分が 2 回
担当教授	Tan Teck Kiam
授業内容	都市デザイン
試験・課題など	試験なし、制作物提出
感想を自由記入	スタジオにより忙しさが差異あり

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
英語	論文方法
科目設置学部・研究科	school of environment and design
履修期間	1 セメスター
単位数	4
本学での単位認定状況	2
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Widodo
授業内容	論文の組み立て方法
試験・課題など	レポート課題、試験なし
感想を自由記入	日々の講義の写真をとっておくと後でレポートが書きやすい

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
年 1月～3月	
4月～7月	履修、住居、Visaの手配
8月～9月	暇な時間を使いポートフォリオ作り
10月～12月	レポートと設計課題に専念
年 1月～3月	就活スタート
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	



## 留学体験記

<p><b>留学しようと決めた理由</b></p>	<p>実はこの交換留学をする前に約1年間のあいだアメリカに語学留学していました。そこでの経験がわたしにとってすごく実りあるものであり、かけがえのない経験になっています。そこで今回のお話をいただき、さらに自分の知識と経験を蓄積するために、そして今回は語学だけでなく建築の勉強もできるということで、シンガポールへの留学を決めました。</p>
<p><b>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</b></p>	<p>まず、日常会話ができれば生活する事ができません。私の場合、現地で住むアパートを探していたので、それなりの英語力が要求されたように感じました。そして私はあらかじめ、レポートの内容を NUS の OG の方から伺っていたので、それについて日本で下調べする事ができました。スタジオでも日本の都市計画や建築、さらに日本で一般的な物事、日本人についてよく聞かれることがあるので、そういったものの理解をもっと深めておくべきだったと思います。</p>
<p><b>この留学先を選んだ理由</b></p>	<p>NUS は現在、中国、インド、日本、韓国、ドイツ、アメリカ、香港、台湾など、30カ国を超える国から学生が集まっていて、祖国の様々な事例や経験談が聞け、特にアジアでのビジネスや建築、都市について知見を深められる環境です。わたしは日本での生活や学校生活で出会う人がほとんど日本人でしたが、NUS では異なる国々から来た人々、そして異なった意見や考え方、文化、さらには世界各国の言語、特に中国語にも触れる機会があると考えたのでこの留学先を選びました。</p>
<p><b>大学・学生の雰囲気</b></p>	<p>大学といってもそれぞれのキャンパスで雰囲気は異なります。私が在籍していた school of environment and design に限って言えば、学生たちは勉強していたり、何かしらの行事の用意をしていたりと、大変賑わっていました。日本の学生と変わっている点と例えば、シンガポールの学生は大学に宿泊せずに作業することくらいでした。昼になると、皆、食堂に行き食事をとります。ですが残念なことに私の口には合わず、ほぼ毎日同じ校舎内にありマクドナルドを利用していました。</p>
<p><b>寮の雰囲気</b></p>	<p>寮には住んでいませんでした。</p>
<p><b>交友関係</b></p>	<p>大学内で交友関係を作るには、絶対に寮に入る事をお勧めします。私は学外に住んでいましたが、全く交友関係を作る場はありませんでした。寮に入っている友人たち言わく、寮では頻繁に交流する機会があり、その場で友人を作り、休日には遊びに行き、シンガポールで一生の友達を作れたと話していました。</p>
<p><b>困ったこと、大変だったこと</b></p>	<p>シンガポールには近年ヘイズと呼ばれるインドネシアの違法な焼畑が原因とされる煙害が深刻化しています。この発生する期間はだいたい私がシンガポールに滞在していた期間と被っており、外にでるときさくさい感じがします。人体にも有害で、現地の人は皆、厚手のマスクを着用していたので、私も急いで買いに行きましたが、すぐ売り切れになるので、マスクは日本で用意していった方が良かったかもしれません。</p>
<p><b>学習内容・勉強について</b></p>	<p>わたしは建築・都市デザイン系学科のスタジオに属していました。最初の数週間は先生達の講義に生徒との対話を混ぜつつ進めていくものでした。そしてセメスターの後半になってくるとグループで調べ物やデザインを作り公表、エスキスをしていきます。最初の頃は、緊張とルールの違いから自ら発言できませんでしたが、段々シンガポールのルールを知ることや、グループのメンバーや先生と交友関係を築きアドバイスをいただくことで解決していけました。</p>
<p><b>課題・試験について</b></p>	<p>わたしが履修していた school of environment and design の design 7 と research methodology は試験がなかったためわりと緊張することなくセメスターを終了することができました。そのかわり design 7 には制作物提出があり提出1週間前になると皆11時頃まで作業していました。また research methodology には2回のレポート提出があり、それぞれ1500字、2500字とそれなりのボリュームがあるため、準備は割りと早い段階からする必要があったと感じました。</p>
<p><b>大学外の活動について</b></p>	<p>大学内の活動は多いように見受けられましたが、一つも参加していませんでした。</p>

留学を志す人へ

「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等

留学は”おもいきり”が大切です。わたしも最初は不安で留学するのをためっていました。しかし親や先生、友人の後押しもあり、留学することに決めました。留学中も不安なことも楽しいこともあります。全て自分にとって良い経験になるはず。しかし、より良い留学生活にするには、やはり留学前も、留学中も、とにかく積極的にチャンスを掴み、貪欲に学習しようという姿勢がとても大切です。学校内だけでなく、その国で経験できることをできるだけ幅広くするのもいいかもしれません。

